

令和元年12月6日
東部農林振興センター松江農業普及部安来支所

標題 やすぎ梨生産部会が二十世紀梨品評会表彰式を開催

(ダイジェスト)

11月22日(金)、やすぎ梨生産部会の二十世紀梨品評会表彰式と晩果出荷目合会が開催されました。5名を褒賞するとともに、今後収穫出荷する晩果(愛宕、晩三吉)の仕上がりを確認しました。また、「梨ジョイント栽培」について農業技術センターから説明を受けて、傾斜地での梨経営を考える場となりました。

やすぎ梨生産部会(29名)では、9月4日に二十世紀梨品評会を行い、出品22点から優秀5点を選び、この度、最優秀賞「安来市長賞」等を授与する運びとなりました。

今年産は、お盆以降の降雨や数度の台風の影響により、傷果・落果、樹木損傷等が発生し、糖度上昇も懸念されましたが、出荷段階では例年並みに仕上がりました。

二十世紀(選果場取扱実績)は、出荷量46.2t(対前年比93%)、販売額2005万円(同102%)となり、概ね良好な結果となりました。

次に、晩果目合会では、外観確認と試食を行い、今後の出荷について意識統一を図りました。

また、農業技術センターから「梨ジョイント栽培」の研究成果について説明を受け、仕立て方法・着果枝更新や傾斜地での有利性等について学びました。

新たな担い手づくりが大きな課題である中、早期成園化や省力化に向けた経営のあり方考える場となりました。



高品質生産5名を褒賞



愛宕、晩三吉の試食



ジョイント栽培の傾斜地での有利性を学習